

多管式熱交換器取扱説明書

株式会社 ハシテック

HASHITECH.CO.,Ltd

〒540-0032

大阪府中央区天満橋京町 2-6

TEL:06-6948-8409

FAX:06-6948-8439

取り付けに際しての注意事項

1. 熱交換器内にゴミや切り屑等が入らないようにして下さい。
2. ハンマーで叩いたり、落下衝撃を与えないようにして下さい。
3. 熱交換器本体に溶接による火花が当たらないようにして下さい。
4. 取り付けに際しては、水平・垂直に取り付けて下さい。
5. 取り付け接続は、ユニオン継手、又は、フランジ継手を使用して下さい。
6. 流体中にゴミ等が混入する恐れがある場合は、前処理をするか、ストレーナー等を設置して下さい。
7. 取り付け接続は、電食防止の為、絶縁継手を使用して下さい。
8. 取り付け施工時、無理な締め付けをしないで下さい。
9. 振動のある場合は、防振装置を考慮して下さい。
10. 蒸気配管に際しては、必ず縦に使用、上部より入り下部よりドレンがスムーズに抜けるようにして下さい。
11. 必要に応じて保温施工して下さい。
(凍結防止、及び火傷等の防止の為)
12. 使用温度により、伸縮継手が必要です。

運 転 要 項

1. 運転前に配管内の砂、石、スケール、シールテープ等を除去して下さい。
2. 1の後、給水バルブ、温水バルブを徐々に開いて下さい。
3. 熱交換器及び配管のエアを完全に抜いて下さい。
4. 一次側、二次側の流量、出入口温度、圧力を確認して下さい。
5. 正常値であれば運転を行ってください。

注 意 事 項

1. 流量が極端に多くないか確認して下さい。
2. ウォーターハンマーが生じていないか確認して下さい。
3. エアー抜きが完全に行われているか確認して下さい。
4. 配管取り付けが完全に行われているか確認して下さい。

以上について不備があれば、異常音が発生する場合があります。
又、熱交換器を損傷することがあります。

保管管理について

1. 正常運転時の各流量、温度、圧力は記録し確認しておいて下さい。
2. SUS製熱交換器は、給水、循環温水中に多量のCL（塩素イオン）が入ることは避けて下さい。
3. 急激な圧力が、かからないようにして下さい。
4. ウォーターハンマーが、かからないように配慮して下さい。
5. 蒸気使用（又は高温水）の場合、熱交換器内で再蒸発が生じないようにして下さい。
6. 熱交換器内でのスケール発生は伝熱効率を下げたり、腐食の原因になりますので、水質に配慮して下さい。
7. 汚れ状態により定期的に洗浄する事が必要です。
洗浄方法については、付着物等により異なりますが、清水による逆洗浄、洗剤、薬品、エアー等の洗浄方法があります。